

令和4年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 新学習指導要領に基づいた教育課程を策定し、カリキュラム・マネジメントに取り組む。 組織的、体系的な授業改善をおして生徒の学びに向かう力や探究心を高める。 学校行事や生徒会活動等を通じて、生徒の主体性・リーダーシップを育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①新学習指導要領の適切な運用に向け、カリキュラム・マネジメントに取り組む。 ②主体的・対話的で深い学びを実現し、思考力・判断力・表現力を育む授業実践に向けて組織的に授業改善に取り組む。 ③学習習慣を定着させ、基礎学力の向上と、学びに向かう力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①授業時間や多展開等の授業編成を見直し、必要な人的・物的体制の確保を進める。 ②ICTを活用し、学習の基盤となる各種資質・能力を育成する。 ②教科等の指導で1人1台端末の活用を推進する。 ③探究的な学習や日常や社会との関連を重視した学習を充実させる。 ③Classroomを活用して課題等を日常的に配信し学習習慣を定着させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①新2年の選択科目の配置を適切にできたか。 ①65分授業の課題を把握できたか。 ②Classroom等の活用状況。 ②1学年の授業における1人1台端末の活用状況。 ②組織的な授業改善が行われているか。 ③探究的な学習活動の実施状況。 ③Classroomでの課題配信を行った科目数。 					
2 生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> 生徒との確かな信頼関係に基づいた生徒理解に努め、基本的な生活習慣の確立、社会性を育成する。 生徒一人ひとりの実態や特性に応じたきめ細かい支援の一層の充実を図る。 部活動を含め、生徒が自主的・主体的に活動できる教育環境の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ①全職員の共通認識のもと、きめ細かく粘り強い生活指導を通じて、基本的な生活習慣の確立を図る。 ②個々の生徒の課題を共有し、課題解決に向けて支援を行う。 ③部活動や学校行事の充実を図り、主体性、社会性、豊かな人間性を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①生徒一人ひとりが抱える問題や困り感に目を向け、早期発見、早期対応できる支援体制の構築を図る。 ②生徒毎の情報共有を的確に行い、職員全体の共通理解のもときめ細かい支援を行う。 ③生徒の主体的活動の充実を図り、豊かな人間性を育てる。また、活動の成果を発信していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ①個々の生徒に対して迅速に対応し、課題解決の道筋を示すことができたか。 ②定期的情報共有の回数と、生徒の状況に応じた対応ができたか。 ③新入生の部活動加入率が70%以上であったか。 ③学校行事について70%以上の生徒が充実感を感じることができたか。 ③学校掲示板を定期的に更新できたか。 					

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人ひとりの社会的自立に向けキャリア発達を促進させる。 将来に見通しを持たせ、生徒が希望進路の実現に向けた進路指導・支援の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人ひとりの社会的自立に向け、キャリア諸能力の形成を図る。 生徒の進路希望の実現に向け、系統的な進路指導・支援の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> キャリア・パスポートを活用し、自己の変容や成長を実感できるよう組織的な指導・支援に取り組む。 3年間を見通した組織的な進路指導体制を構築する。 年間計画に基づいた各種(模擬)試験に対する事前指導や振り返り等により、生徒の希望進路の実現に向けて、きめ細かい支援の充実に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 校種間で引き継いだキャリア・パスポートを活用し、ポートフォリオを蓄積することができたか。 大学入試制度等についての適切な情報収集及び提供ができたか。 希望進路の実現に向けてスモールステップを設定し、課題を解決することができたか。 進路に対して、生徒に自己肯定感を持たせることができたか。 					
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティ・スクールの仕組みを通じて、地域、同窓会等の外部の教育資源を有効に活用する。 外部への情報発信を積極的に展開し、開かれた学校づくりを進める。 	<ol style="list-style-type: none"> ①学校運営協議会と連携して、コロナ禍でも可能な地域との連携を図り、地域、同窓会、保護者と協働した取組を進めていく。 ②学校説明会やホームページの内容の充実を図り、本校の教育活動を広く発信する。 	<ol style="list-style-type: none"> ①地域と協働し、学校が地域との関わりの中で、何ができるのか模索し、能動的に活動する。 ②学校説明会や見学会は長期休業中をメインに実施する。また、ホームページの内容の充実と更新を図る。 	<ol style="list-style-type: none"> ①地域との関わりを持ち、能動的な貢献活動ができたか。 ②学校説明会や見学会に多くの人に参加したか。ホームページの内容の充実を図ることができたか。また、更新の時期が適切だったか。 					
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> すべての職員が学校教育目標を目指し、効率的、効果的な教育活動に取り組み、社会に開かれた教育課程の実現を目指す。 職員の働き方改革を推進するとともに、事故・不祥事の未然防止に努め、県民から信頼される学校づくりに努める。 	<ol style="list-style-type: none"> ①スクール・ポリシーのもと、全職員が学校教育目標の達成に向けて教育活動を推進する。 ②職員一人ひとりが事故・不祥事防止に向けて、当事者意識をもって取り組む。 ③グラウンド改修工事による教育活動への影響を最小限にとどめる。 	<ol style="list-style-type: none"> ①スクール・ポリシーの理念を全職員で共有し教育活動を推進する。また、広報活動に活用する。 ②不祥事防止研修を定期的に開催する。 ③近隣の施設等を活用し、部活動の活動場所を確保する。 	<ol style="list-style-type: none"> ①スクール・ポリシーをホームページや各種配付物等に掲載し、周知できたか。 ②不祥事防止研修を何回実施したか。また、不祥事ゼロを達成できたか。 ③部活動が十分に練習等を実施できる活動場所を確保できたか。 					

